

11.9にホム来日阻止 米帝の中曽根打倒

動労千葉

83. 10. 28

No. 1479

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

米帝のレバノン、グアラナダ侵略弾劾

巡航ミサイル 日本配備を画策、世界中に核戦争・侵略まきちらす

トマホーク 米帝・レーガンは、十月二五日中午米カリブ海に面した、グレナダについて公然たる侵略戦争を開始した。しかも、米国上・下両院に初の「戦争権限法」を暴力的に発動したのである。今や、レーガンは、世界戦争の仕掛人として、その姿を鮮明にしたのである。

すでに、世界帝国主義の体制的危機を戦争でのりきることのみをふみきっているレーガンは、中南米・全アジアに戦争をまきちらしてきたが、フィリピン、アキノ氏暗殺、大韓航空機撃墜、韓国閣僚の爆死、とりわけ内戦のつづくレバノンの首都ベイルートで、軍司令部いわば心臓部での爆破という激化に、最大の危機感をもったレーガンがついに「戦争権限法」を暴力的に行使したグレナダへの侵略戦争である。

レーガン来日を阻止しよう

米帝レーガンは、世界的な軍事力の圧倒的な優位に依拠し、経済の没落を軍事でまきかえすために、ついに世界で戦争を実際に開始し、そこに、他帝国主義をひきずりこんできている。その最大の狙いが、日本・アジアである。その最大の戦争仕掛人米帝レーガンが、11・9日本に来日するという。これは、日帝・中曽根が、独自にすすめてきた軍事大国化！改憲を保障するばかりでなく、レーガン自身、新たな侵略戦争―核戦争とアジア侵略に決定的にのりだそうとする戦宣言の来日である。同時に、これを機に日帝・中曽根もまた軍事大国化―改憲、アジア侵略に暴力的に突進することを画策しているのである。また、レーガンは、日本だけは来日を中止せずとしている。日本労働者・人民は、世界の人民と連帯してレーガン来日を何としても阻止しなければならない。

われわれは今、このようなレーガン来日と日帝・中曽根の戦争のための「話し合い」を許しておいてよいのか、断じて否である。国内の全情勢を見よ。すべて日帝・中曽根の戦争政策のために、ありとあらゆる反動攻撃がかけられているのである。それは、三里塚闘争破壊であり、臨調―行革であり、国鉄労働運動解体攻撃である。昨年より始まった国鉄における弾圧処分・既得権の全面剥奪、そしてついに十月二五日、延べ三万名にもおよぶ要員合理化をうちだしてきた。これらは、単に、国鉄合理化ではない。これは、日帝・中曽根の戦争政策にその根幹があり、これを破壊せずしてわれわれのすべての闘いの勝利もありえない。

日帝・中曽根打倒へ！

すべての組合員のみなさん。すでに明らかになりました、11・9レーガン来日と中曽根をもつてする未曾有の「上からの攻撃」に、総評をはじめとする革新といわれる既成政党が、この反撃の闘いを一切放棄し、目をそらしている現実をわれわれは、何としても打ち破り、すべての戦闘的全労働者・人民の怒りの総決起をもって、これに立ちあがらねばならない。

この闘いを突破口に中曽根内閣を打倒しよう。11・9すべてをかけて総決起しようではないか。

とき 11月9日(水) 正午
ところ 多摩川緑地公園

11・9レーガン来日阻止 全国総決起集会よびかけ
中曽根内閣打倒

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 浅田 光輝 (東京実行委員会) | 奥 鉄男 (日本原基地反対同盟) |
| 永井 満 (全関西実行委員会 淡路町空港反対同盟) | 小西 のぶ子 (反戦被爆者の会) |
| 北原 鈺治 (三里塚反対同盟事務局長) | 伊藤 鉄東 (全九州実行委員会) |
| 小川 嘉吉 (三里塚反対同盟法対部長) | 小西 武男 (全九州実行委員会) |
| 島村 良助 (三里塚反対同盟本部役員) | 松本 栄二 (佐世保の海を守る会) |
| 平山 賢 (三里塚反対同盟行動隊長) | 瀬川 博 (部落解放同盟荒本支部) |
| 宮本 嘉 (三里塚反対同盟副行動隊長) | 桑原 重夫 (11・22救援会) |
| 郡司 とめ (三里塚反対同盟婦人行動隊長) | 古波津 英興 (沖縄民権の会) |
| 島村 昭治 (三里塚反対同盟青年行動隊) | 青柳 晃玄 (全群馬実行委員会) |
| 中野 洋 (動労千葉) | 野村 彰 (小西反軍裁判を支援する新潟市民の会) |
| 関川 宰 (動労千葉) | 佐藤 光政 (長野県実行委員会) |
| 渡辺 喜美江 (北富士恐草母の会) | 鎌田 雅志 (全学連) |

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！